

事例報告

「千葉大学学術情報リポジトリ計画」 について

千葉大学附属図書館

尾城 孝一

ojiro@ll.chiba-u.ac.jp

背景,あるいは問題の所在

- 大学からの情報発信機能の強化
 - 科学技術・学術審議会『学術情報の流通基盤の充実について(審議のまとめ)』
 - 大学の可視性の向上
- 学術コミュニケーション・システムの変革
 - 「雑誌の危機」(シリアルズ・クライシス)
 - 新たな学術出版のパラダイム

「審議のまとめ」

- **科学技術・学術審議会『学術情報の流通基盤の充実にについて(審議のまとめ)』(平成14年3月12日)**
 - － 「大学等から発信される様々な学術情報が簡便に利用できるためには、総合的な情報の発信窓口(ポータル機能)を設置し、統一的な規約によって情報を発信する必要がある。このために、大学図書館が中心となって...情報発信のためのシステムの設計・構築を行う必要がある」

学術情報(研究成果)とは

- 論文(雑誌論文, プレプリント, 紀要論文, テクニカル・レポート, 学位論文), 図書, 教材, 実験データ, 統計データ, 学会発表資料, データベース, ソフトウェア等々

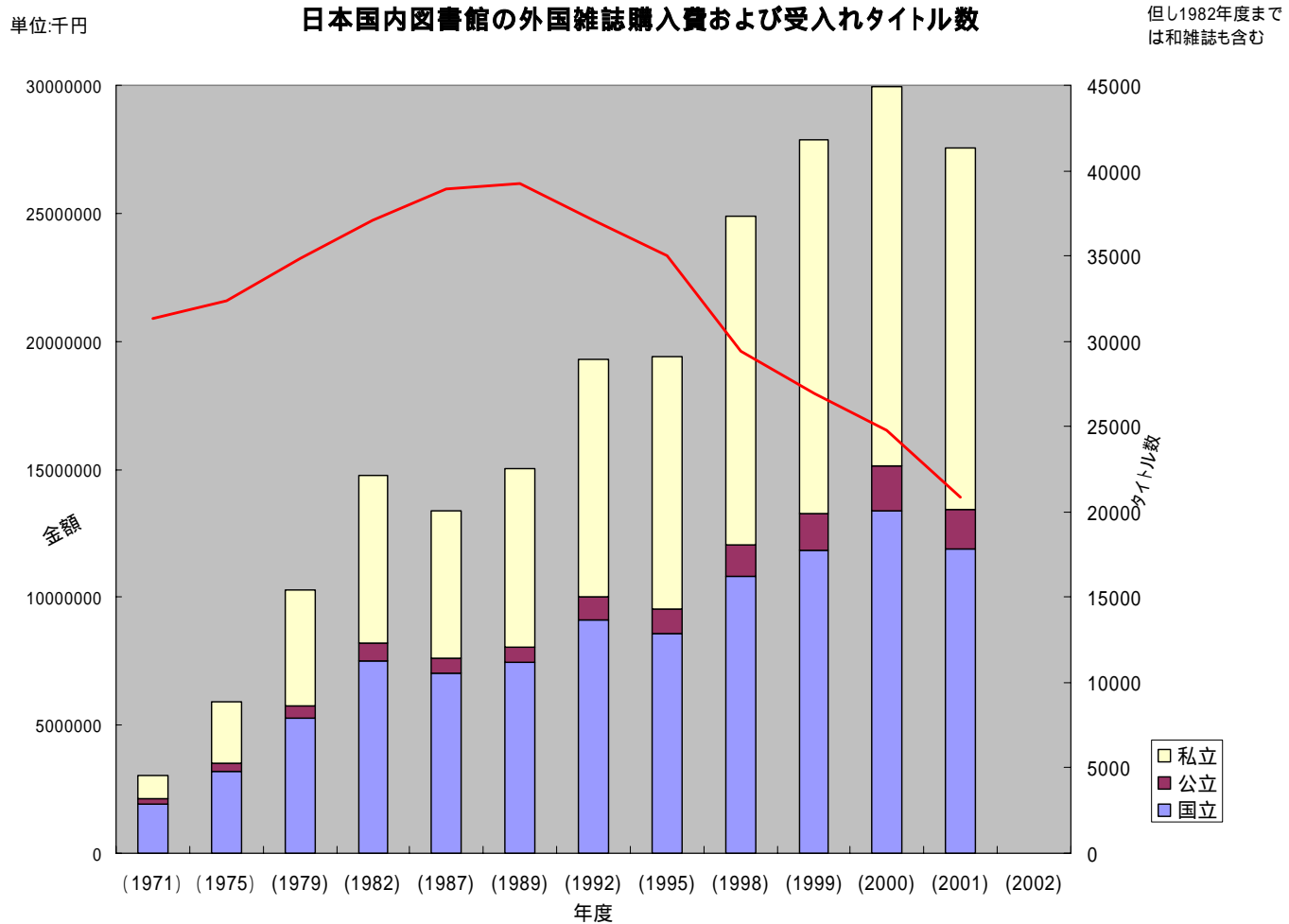
発信の現状

- 雑誌・図書(紙/電子)を通じて刊行
- プレプリント・サーバから発信
- 学会発表
- 授業
- ウェブサイトでの公開

現状の分析

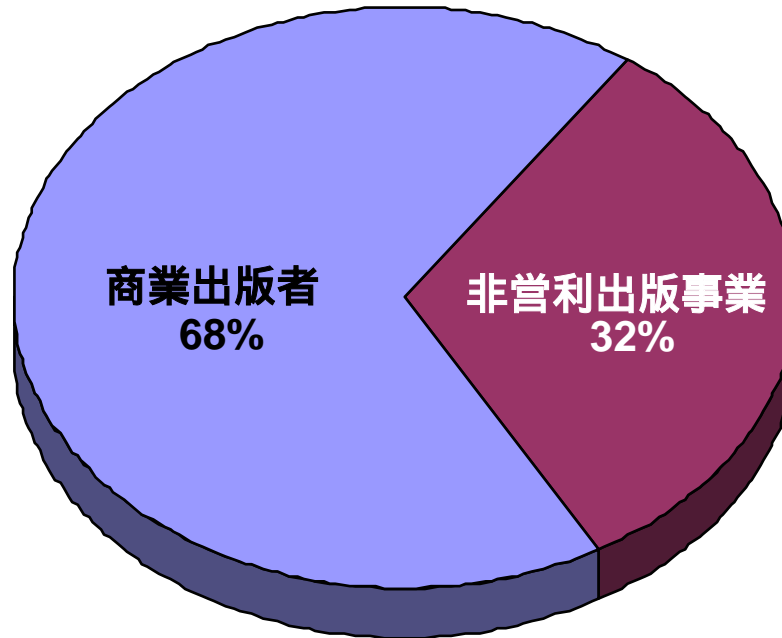
- 統一的な発信窓口の欠如
- 長期的な保存体制の不備
- 隠れた成果の存在

雑誌の危機



商業出版者の独占

STM(科学・技術・医学分野)の出版市場
78億ドル



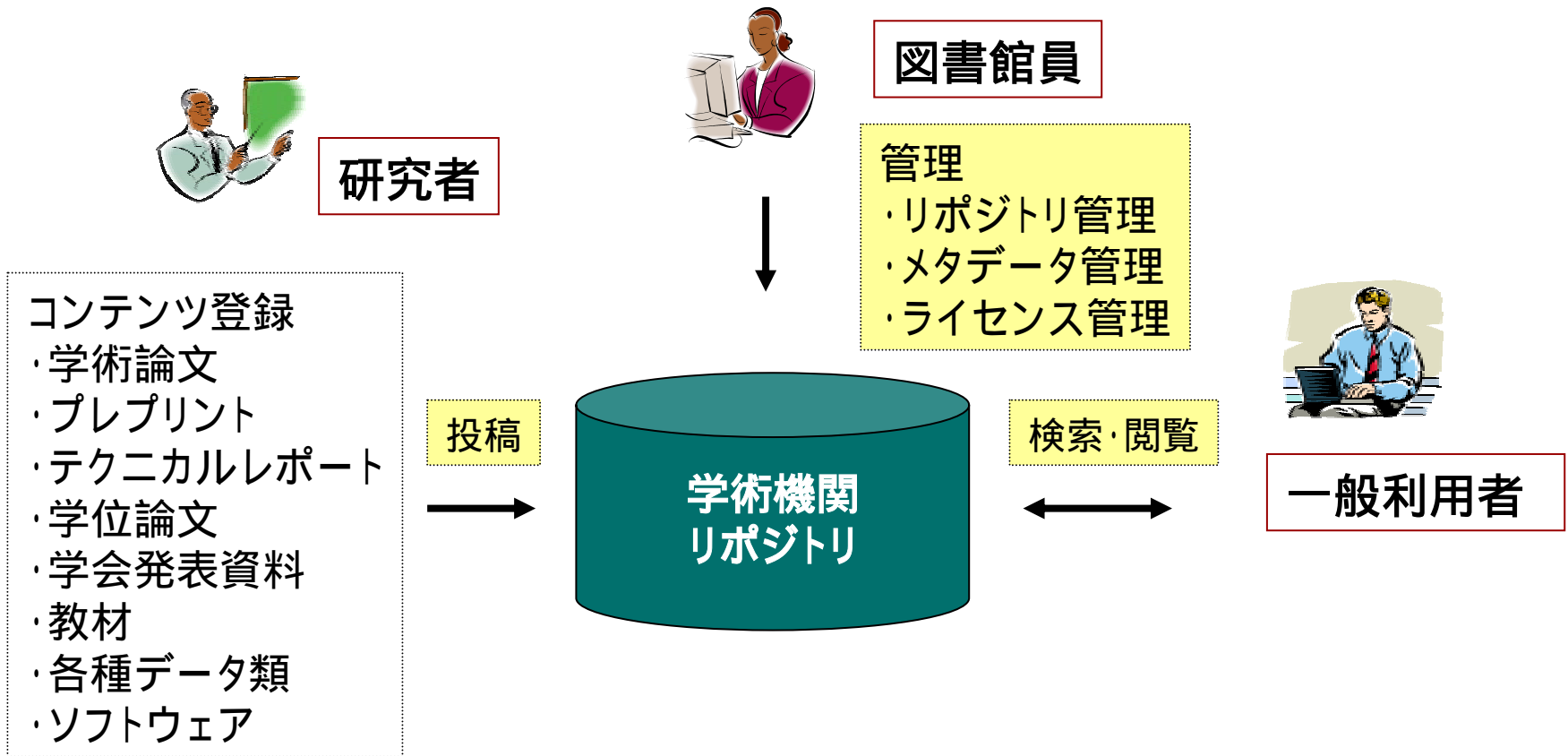
Source: Outsell Inc., "Industry Trends, Size and Players in the Scientific, Technical & Medical (STM) Market (Aug. 2000).

by Alison Buckholtz, SPARC

ひとつのソリューション

- Institutional Repository
 - 学術機関リポジトリ, 機関リポジトリ/レポジトリ, 大学リポジトリ
- 「大学内で生産された知的生産物(さまざまな論文, プレプリント, 統計・実験データ, 教材, ソフトウェアなどの学術情報)を蓄積, 保存し, 学内外に無償で発信するためのインターネット上の電子書庫」

システム概念図



期待される効果

- **大学からの情報発信機能の強化**
 - 統一的な情報の発信窓口として機能
 - 大学の説明責任
 - 研究機関としての知名度の向上
- **学術コミュニケーション・システムの変革**
 - 世界的なリポジトリのネットワーク
 - 無料でアクセスできる学術論文の増加
 - 商業出版社の寡占システムの打破

千葉大学学術情報リポジトリ計画

- 館内ワーキンググループの設置(平成14年6月)
- 国内外の動向調査
- 学内教官を対象としたアンケート調査(平成14年10月)
- 「千葉大学学術情報リポジトリ(仮称)」プロトタイプ版の開発(平成15年3月完成)
- 附属図書館長の下に「協力者会議」設置(平成15年7月)
- 運用開始予定(平成16年4月)

プロトタイプの実演

- <http://mitizane.ll.chiba-u.jp/information/index.html>

検討中の課題

- 初期データ整備
- 運用指針と利用許諾契約書の策定
- ソフトウェアの改造
- 登録の促進
- 出版者の著作権ポリシーに関わる問題

今後の展望

- **リポジトリ共同体**
 - 課題解決に向けた知識や経験の共有
 - ソフトウェアの共同開発とオープンソース化
- **大学図書館とNIIのコラボレーション**
 - **大学図書館**
 - 学内の学術情報を収集, 保存
 - **国立情報学研究所**
 - 各大学のリポジトリに対する総合的窓口機能

めざすべきは



日本発の学術情報への統一的窓口

JuNii , GeNii

NIIメタデータ
データベース

メタデータ・ハーベスティング

千葉大学

B大学

C大学

D研究所

学術機関リポジトリ

論文

教材

データ

ソフトウェア

学術機関リポジトリ

論文

教材

データ

ソフトウェア

学術機関リポジトリ

論文

教材

データ

ソフトウェア

学術機関リポジトリ

論文

教材

データ

ソフトウェア